

てんやわんや次郎長道中（1963）

メディア 映画

ジャンル コメディ 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 75分

初公開日 1963/06/30

【解説】

「手討」の八尋不二によるオリジナル脚本をもとに「悪名市場」の森一生がメガホンをとった。芦屋雁之助や藤田まこと、白木みのるなど、関西の人気コメディアンが集結した娯楽時代劇。

近くに黄金が出るという噂で持ちきりの男金（おがね）宿場に、若い旅鴉が現れる。宿場一の顔役である長兵衛が、田舎娘を集めて二番目の顔役である美濃辰のあいまい屋へ売っていることを、旅鴉は耳にした。また代官の芹沢九郎二郎は長兵衛たち三悪人と女目明かしお安を集めて、清水次郎長の逮捕について相談していた。三悪人は金山を狙おうと、木挽きの久助と孫娘おかよの住む山吹谷を襲うが、そこへ旅鴉が現れおかよたちを守ることに成功。そうこうしているうちに、八州役人が「男金の宿場に清水次郎長が潜んでいる」と知らせてきたため、宿場は上を下への大騒ぎとなってしまう。

【クレジット】

監督 森一生

脚本 八尋不二

撮影 今井ひろし

美術 西岡善信

音楽 斎藤一郎

出演 市川雷蔵

坪内ミキ子

姿美千子

藤原礼子

ミヤコ蝶々 Miyako Chocho

茶川一郎

芦屋雁之助

藤田まこと